

目次

2面  
2012

2012  
新人特集

3面

## 各部春の結果

4面

# 柔道部緒方五輪決定



男子走幅跳

## 楠川祥生選手の力強い助走

### 楠川選手の跳躍

## 嶺村鴻汰選手の跳躍

## 女子5000m

アールが多発。成功して前半の記録を上回れないのが手が続出した。嶺村選手、川選手も記録を伸ばすことができず、前半に出した記録が最終記録となつた。結果は、嶺村選手が4位、楠川選手が6位に終わった。優勝したのは前半で2位の記録を残していた順天堂大学の嶺手。最後の試技で1位をわざと1cm超える跳躍を見せ、差で勝利した。筑波大の嶺選手は3連覇とはならなかつたものの、手に汗握る合戦開であつた。

手、楠川選手は2回目以降徐々に記録を上げること成功。嶺村選手はトップとセンチ差の7m62、楠川選手は36センチ差の7m50で位8人に入り、後半3回の技に進んだ。

5月12日、13日、19日、20日  
くの筑波大の選手が優勝。  
会終盤3日目を観戦した。

たのは男子走幅跳、女子500m、そして女子4×100mリレーだ。

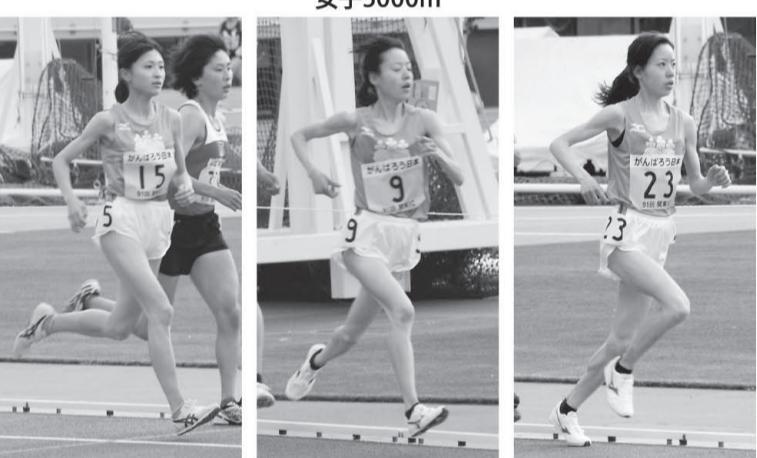
年、長野・大町高)そして、楠川祥生選手(体育3年、三重・宇治山田高)だ。

行われた。この大会では毎年連覇の期待がかかっていた。

**筑スポ**  
**関東陸上**  
**女子20連覇**  
**達成!!**  
**男子は3位**

て上位が狙える位置につけ  
ていた。そしてラスト100mにさしかかったところで、中央大と順天堂大の選手が追い上げを見せ、萌選手は桂林かれ3位でゴール。上野選手もすさまじいラストスパートを見せ4位フィニッシュ。悠選手は5位となつた。

2走・立山選手の猛追	
0000m競歩	子、真下まなみ)
位 林 唯	
走幅跳	走高跳
位 中野 瞳	2位 金井 瞳
やり投	円盤投
位 柴 奏子	1位 日下望美
位 鈴木愛弓	3位 糸満みや
4×100mリレー	4位 知念莉子
位(中野 瞳、立	
山紀恵、山田朱	
萌、相馬絵里子)	
4×400mリレー	7種競技
位(水口小夜、早	2位 春田亜沙美
森成美、相馬絵里	
	総合結果
	男子1部 第3位
	女子1部 優勝



女子5000m

久馬萌選手

上野泰加選手



女子800m 大会新記録で優勝した真下まなみ選手(右から2番目)と2位の谷本有紀菜選手(一番左)

結果一覧	男子1部	やり投	走幅跳	100mハードル	ハンマー投	10000m競歩	子、真下まなみ)
400m	2位 中嶋善寛	4位 嶺村鴻太	2位 相馬絵里子	1位 大崎かな	4位 林 唯	走高跳	走高跳
3位 近藤崇裕	4位 木村 圭	6位 楠川祥生	7位 久貝瑞稀	3位 糸満みや	2位 中野 瞳	2位 金井 瞳	
110mハードル	十種競技	円盤投	10000m競歩	6位 日下望美	200m	やり投	円盤投
1位 大室秀樹	2位 谷浩二朗	4位 前田 奎	5位 林 唯	7位 立山紀恵	800m	3位 柴 奏子	1位 日下望美
8位 馬場和樹	8位 相澤 翔				1位(大会新記録)	6位 鈴木愛弓	3位 糸満みや
走高跳	800m	女子1部	三段跳	真下まなみ	真下まなみ	4×100mリレー	4位 知念莉子
1位 戸邊直人	5位 中村康宏	400m	棒高跳	6位 大坂阿玖里	6位 谷本有紀菜	8位(中野 瞳、立	7種競技
3位 平 龍彦		400m	3位 有川星女			山紀恵、山田朱	2位 春田亜沙美
6位 村岡健也	400mハードル	1500m	砲丸投			莉、相馬絵里子)	
	7位 加藤誠也	3位 谷本有紀菜	2位 知念莉子	3位 久馬 萌	5000m	4×400mリレー	総合結果
三段跳	4×400mリレー	10000m	5位 河合郁実	4位 上野泰加	3位 久馬 悠	6位(水口小夜、早	男子1部 第3位
2位 米澤宏明	6位 (柳澤純太、	6位 久馬 悠		5位 久馬 悠	4位 久馬 悠	狩成美、相馬絵里子)	女子1部 優勝
	田中新也、加藤	8位 久馬 萌					
ハンマー投	誠也、近藤崇裕)						
3位 保坂雄志郎							

# 筑波 スポーツ

# 2012 新人特集

差し入れに欲しいもの  
聞いてきちゃいました!!



## 久馬 悠・久馬 萌 選手(陸上競技部)

国立大学で関東の上位で戦つてきた、筑波大学の蹴球部に、今年も期待の新人が入部した。早川史哉選手(体育系)は、1年、新潟開志学園高はJ1で戦うアルビレックス新潟のユース出身で、2009年から日本代表に選ばれてきた。そんな早川選手に本学を選んだ理由を聞いてみた。

「関東で上位を戦う本学でサッカーをすることがで

と上手くなると思った。本学では将来の夢であ

教員になる勉強をしながらサッカーピー

トするから入学を決めた。」

早川選手がサッカーピート始めたのは小学一年生の時、所の先輩に誘われ、地元サッカークラブに入り、中生からアルビレックス新



早川 史哉 選手(蹴球部)

のユースに所属しながら、高い部活動もサッカーをやんだ。早川選手が高校一年の時、アルビレックス新潟ユースが全国に進んだ際自分達でも全国で戦てるのを、という自信とチケットの大切さを学んだ」という。

ユース時代を経て、本学と入学し、早1ヵ月が過ぎた。本学の雰囲気についてみると、「学生が多く多いので、とても住みやすい」と答えた。所属している蹴球部は「一人一人の意識についてみると、『学生がそぞろが持っている。とても強い刺激になる』と、力強く、全国1位の目標をそぞろが持っている。それでも、試合に出ている事にして聞いてみると、「今まで人数の少ないチームに所していたが、本学のように員が多い中で、自分が代表して試合に出ていることに任を感じる。この中でもつ成長していくたい」。本学の抱負については、「今

選中の中の一生は、選くと選ばれることは、部員としての責任を負う。サッカー部の監督は、選手の成長を助けるため、常に激励や指導を行なう。しかし、監督の指導方針が誤りである場合、選手たちはその影響を受け、自身の技術や精神面で問題が生じる可能性がある。したがって、監督の指導力は、選手たちにとって非常に重要な要素となる。また、監督は選手たちの成長を見守り、適切な指導を行なうことで、選手たちの成長を促進することができる。このように、監督の指導力は、選手たちの成長にとって非常に重要な要素となる。

い。今回、新人特集ということになった。年齢的には私の方が一つになるのだが、早川選手は纏うオーラや拳上動作はとても落ち着いていて、私が恥ずかしさを覚える程度であつた。サッカーにだけではなく、すべてにおいて真剣に取り組んでいる様子が取材を通して見えた。それでも、早川選手は本学に入学してまだ1ヵ月だ。早川選手の活躍はこれからたくさん見ることが出来るだろう。蹴球部の練習は筑波大学第1サッカー場で日々行われている。サッカーに対する真剣に取り組んでいる早川選手をはじめとした、蹴球部の選手たちの練習を見せて貰った。そして、蹴球部の試合へ足を運び、選手たちと共に試合の雰囲気をして勝利の喜びを感じてみてほしい。



シヤーフセインシヤー 選手(柔道部)

女子バーボル部期  
の新入部員の一人は、セン  
ターブレーヤーの芳賀舞波  
選手(体育1年、東京下北沢  
成徳高校)だ。数々の日本代表  
選手を生み出した名門校出  
身の彼女に、まずは筑波大学  
を志望した理由を伺った。



若賀 舞波 選手(女子バレー部)



(三浦加奈絵)



